

キッズ・あいびい~Ⅱ 支援プログラム

作成日令和6年10月18日

法人理念 「共生・共育」

営業時間 9:00~18:00

『支援方針』

限られた環境の中での支援ではなく、現在・将来的にも生活していく地域や社会に出掛けて様々なことを体験できる環境を作り、体験して感じ、見たことなどを通して「健康/生活」「運動/感覚」「認知/行動」「言語/コミュニケーション」「人間関係/社会性」の5領域と支援を結びつけ、自ら選択し、意思を伝え行動していくなど「**自分の人生を生きていく力**」を身に付けていきます。

【外出活動の実践と5領域支援の関連】

『健康/生活』・・・豊かな生活のための 『運動/感覚』・・・健康的な生活を送るための 『認知/行動』・・・安全や安心の生活のための
『言語/コミュニケーション』・・・円滑に人と結びつくための 『人間関係/社会性』・・・社会でより良く生きるための

【外出活動と5領域の関連の一例】

『公園・散策』・・・健康・生活・運動・感覚

- ・その場（公園・ハイキングコースなど）における遊びや身体を動かす活動で食事、睡眠などが安定し生活のリズムを整えていく。
（免疫力、体力などの向上・情緒の安定）
- ・遊具などを使った活動で、握る・掴む・押す・引くなどの動作や感覚を身につけ、生活の中の動作と結び付けていく。（生活スキルの向上・自立）
- ・運動から身体の持つ機能や感覚（視覚・聴覚・触覚など）の発達

『商業施設の利用』・・・人間関係・社会性・コミュニケーション

- ・買い物に行き実際に商品を購入するまでも流れや仕組みがあることなど、社会には様々な仕組み、流れ、ルールがあることを体験しながら学んでいく。
- ・活動先で何をしたいか？何を見たいか？などを活動メンバーで話し合うことで、コミュニケーション力と人間関係を築いていきます。
また、先のことを見据えて、活動の段取りなどの計画性と行動などにも支援を展開していきます。

『公共施設の利用』・・・**認知・行動・コミュニケーション・社会性**

・公共施設（図書館・児童館など）を利用した時、その場所の環境や過ごす人の行動などを視覚などから認知して、自分でその場の環境で必要な行動が出来る様になっていく。

（社会で必要なマナーや行動の切り替えなどの習得）

・環境の空間、間隔を認知していくことで、危険を回避した行動ができるようになる。

『娯楽施設の利用』・・・**言語・人間関係・社会性・行動・認知**

・娯楽施設（例：カラオケ）を利用した時、自分の歌いたい曲を選んでセッティングすることは、その場所の環境、機材の使い方を認知して行動に移していく必要があります。また、お友達と歌う順番を決めたり、順番を守る社会性と人間関係が生み出されていきます。

・人前や大きな声で歌うことで、発声と言語の習得と発展していきます。

・ライフステージや目的に合わせたグループメンバーで、様々な外出活動で身体を動かし**（運動）**、その場での遊びや身体を動かす活動で**感覚**も養いながら、**生活リズム**を作り（睡眠の改善と安定）と**健康**を維持していきます。様々な環境から必要な**認知**を体験から学び、環境に適した**行動**に結び付けていきます。体験から得られた心が躍動する様々な選択肢から言葉やジェスチャーなどの表現力に繋げ、グループ活動をともにする仲間と活動場所や内容を話し合い、自分の気持ちの表出と相手の気持ちを聞く受容をともなった**言語・コミュニケーション**の支援にも結び付けます。活動を共有する時、仲間と意見の相違などがあっても話し合いなどから人との結び付きを作り**人間関係**の力と活動の場の実社会で**社会性**を習得していきます。

子ども自身が課題を意識することもなく、支援者が意識をさせることもなく心が躍る楽しい活動の中に、必要な支援が自然と環境の中に存在し展開されていく様な質の高い支援を目指しています。「人」「もの」「場所」「出来事」が組み込まれる活動環境を支援の土台にしています。

『家族支援』

- ・ライフステージに応じた悩み、家族の環境により持たれる悩みなどの相談にアドバイスや環境の整備などを支援します。
- ・子どもの支援を通して（自立、情緒の安定、生活リズムの安定など）家族の負担を軽減し、楽しみを増やしていきます。

『地域支援・地域連携』

・地域の公共施設、商業施設などを活動の場として利用していきながら、子どもが地域に慣れ親しみ、地域社会で生きていく体験を持ちます。また、活動を通して地域の方との関わりを持ち、子ども達のことを理解をしてもらいことで連携関係を築いていきます。

『移行支援』

・次のライフステージを見据えていきながら、将来の選択肢の広がりや準備などに向けて活動支援や、ご家族への相談などを行っています。
・地域での活動から地域とのつながりを作っていきます。

『職員の質の向上』

・年 6 回の社内研修の实地、年間を通した社外研修に積極的に受講しながら支援の知識や技術を高め実践に繋がります。
・職員が感じた支援の課題や疑問などをその都度事業所内で共有し話し合いをしています。

『主な行事』

・放課後等デイサービスと同様に開催しています。